

新型ウイルスという疫病で世の中が様変わりがありますが、明けない夜はない！もう少し頑張りましょう。

自然災害のように誰もが想像だにできなかった新型コロナウイルスという疫病。東京オリンピックも1年延期。それまでになんとか収束して世界中から日本に集まってほしい。絶対に開催されると信じていますが、どんな風になるのか予想が難しい。

創業の1992年12月にbhf通信として1号を出して以来、80号になりました。自分ではよく続いたものだと思います。これもひとえに子供みたくな拙い文を読んで励ましてくださるみなさまのお陰と心から感謝しております。

一年に3〜4回の発行でも10年過ぎた頃からはいつも、何を書こうかと悩んでいます。悩んだ分少しだけ成長していると自分に言い聞かせて、何とか100号までは続けたいと思いますので、もう少しお付き合いください。



【お金だけでは計れない価値を生み出す企業2】
* 武井則夫著・ダイヤモンド社

企業価値協会の武井則夫氏の著書がダイヤモンド社から発売されました。

* 最高級カシミヤニットはメイドイン北上。
* 美しい環境と人をアピールするブランド戦略
など、独自の特長的価値をもった、事業を推進しているとの評価で、UTOが紹介されました。



【商標登録・天使のストール】

創業間もない頃、職人さんに無理を承知でお願いして作ってもらったこの商品は、それまでのニット編み方としてはかなり非常識で職人さんを悩ませたそうです。

苦勞して作って頂いたストールは、軽くて柔らかく暖かいと好評で、まるで天使の羽を連想することから「天使のストール」と、名付けました。今ではUTOの看板商品としてロングセラーに育ってくれました。

昨年末、その「天使のストール」が、第25類 ストール、マフラーで、商標登録されました。

【岩手工場の手作りマスク】

東京からのオーダーを催促するほどコロナ感染者ゼロの岩手の北上はみんな元気な元気でやる気満々。かたや、リモートで開店休業状態の東京。そんなコロナで苦しむ東京の事務所を気遣い、自分たちでできる範囲で、マスクを作ってくれました。さすがに器用な職人仕事で抜群の付け心地。せつかくだから普段お世話になっている人たちもマスク不足で困っていると思うので、「コロナゼロの元気な岩手からのおすそ分けしよう」と、資材をかき集めて、少しずつ、出来た分からお送りしました。

みなさん、相当に困っておられたようで、洗えるマスクは大好評で多くの方から、メール、お電話、お葉書や手紙を頂き、マスク一枚にこんなに喜んでいただいたことこちらが恐縮するほどでした。中には売ってほしいという方も。今、試作中です。どうせUTOが作るなら、世界一気持ちの良いカシミヤのマスクをと大風呂敷を広げたいと思っています。



【青山・表参道界限】

UTOはこんな街から発信しています

青山さん宅の青山

青山さんが徳川家康から拝領した屋敷地

我がUTOがあるのは南青山5丁目。港区青山はホンダの本社がある青山1丁目から地下鉄で2駅先の青山学院手前辺りの7丁目まであり、かなり広い範囲です。

青山という地名の由来は、江戸城から見たところ、辺りが武蔵野の緑の多い丘のようだったということから付いたものだとして思っていました。実は青山という地名は、4百年も前に青山播磨守忠成（ただなり）という人が徳川家康から拝領し、青山家の江戸屋敷だったので青山と呼ばれるようになったそうです。随分と広大な屋敷だと思えますが、それには逸話があるようです。

青山忠成という人は家康の家臣の中でも重要な人で、武將としても行政官としても能力を発揮したようです。上総・下総2万8千石の大名になり、江戸幕府最初の関東奉行にもなった人です。その青山忠成が家康の鷹狩に随行していたとき、『馬で一周した土地を屋敷として与える』と言われて、馬が倒れるまで走らせて得たのがこの広大な領地だという逸話です。

酒席の勢いのような随分と荒っぽい話ですが、新宿付近を拝領した内藤氏も同じ逸話だそうです。地下鉄・乃木坂駅の脇にある乃木大将の住居跡を公園にした乃木神社がありますが、その港区の案内板にも書いてあるのであながち嘘ではなさそうです。

この青山家は子供達も優秀だったようで、忠成の次男・忠俊（ただとし）は2代目將軍の秀忠の近侍として仕え、3代將軍家光の傅役になり老中まで出



世しています。末裔の宗俊（むねと）は丹波笹山6万石を拝領し、幸成（ゆきなり）という人が郡上八幡4万8千石の大名に取り立てられていたんです。

丹波笹山藩主の青山幸成の子、幸利（ゆきとし）が梅窓院というお寺を建立し、この梅窓院が笹山家の菩提寺になったそうですが、その梅窓院は地下鉄銀座線・外苑前駅を出たところにあります。弊社創業間もない頃、懇意にしていた方のご葬儀で入った悲しい思い出のお寺です。春には入り口の桜が見事でしたが、今ではガラス張りのビルが建って、桜はなくなっていました。

平成31年の港区の住民台帳で、青山の住民は約17600人。青山家では家族や家来・使用人がいたとしてもこんな広大な屋敷をどうやって使っていたのでしょうか。殆どは手付かずのままだったんでしょうね。固定資産税も無いでしょうから。

ウォッシュアブルシルク100%

ケーブル編みノースリーブ

1132-1368 ¥33,000(税込)



細身のケーブル編みでシルクの光沢をより際立たせた、カジュアルながら品のあるノースリーブ。首元・アームホール・裾はゴム編みですっきりと仕上げました。トラディショナルなスタイルと、シルクの風合いを、様々なボトムスに合わせて楽しんでください。

ウォッシュアブルシルク100%

ワイドリブ編みノースリーブ

1132-1367 ¥30,800(税込)



ほど良い幅のリブがさりげなくシルクの表情を醸し出してくれます。気になるノースリーブのアームホールもゴム編みで安心の着用感。一枚でも上品に決まるノースリーブ。

ウォッシュアブルシルク100%

ワイドリブ編みVネックカーディガン

1132-2303 ¥46,200(税込)



ほど良い幅のリブがさりげなくシルクの表情を醸し出してくれます。ワイドリブクルーネックノースリーブとセットアップが是非お勧め！質の良いシェルボタンを配することでよりシルクの上質感を高めてくれます

カシミアとニットの話 * (六十六)

毛を刈れないカシミア

春に生え変わる、カシミア山羊の冬のうぶ毛を頂きます！

オーストラリアやニュージーランドなどの羊毛産地から送られてくる映像などで、丸々としたヒツジを熟練の職人さんが電気バリカンで刈ると、瞬間に丸裸にされ、可愛そうなくらい貧相なヒツジが現われる収穫シーンをみるのが有りますね。でもカシミアの収穫はこういう具合に簡単ではないんです。

カシミア山羊の毛は二種類に分かれています。一つはヘアールと呼ばれて、表面を被っている長くゴワゴワしている剛毛。もう一つがウールと呼ばれ、ヘアールの内側にあるうぶ毛で、水鳥の羽毛みたいなもので、このうぶ毛が大変細く弾力性がありセーターや服地に使う「ウールの宝石」と呼ばれる、カシミアの原毛なんです。

硬く長い毛の間に生えているうぶ毛です。熊手みたいな櫛で梳き取るしかかなりの手間と時間がかかります。

2007年に初めてカシミアの故郷の中国・内モンゴルのアラ善(アラシャン)を訪れたときに、カシミア牧民の杜さんに毛梳きの体験をさせてもらったことがあります。

毛を梳くので、「カシミアは痛くないのなあ？」と、かなり心配でしたが、杜さんが、「冬毛から夏毛に生え変わる時で黙ってても落ちてしまうので全然痛くないよ」と笑った顔にとっても安心しました。

実際に毛梳きの時のカシミア山羊はおとなしく、とろろんとした目をしていますが、毛を梳くほうの私は5分もすると腕がパンパンになってきます。1頭の毛を梳くのに小一時間かかるのでかなりの重労働です。

産毛を梳かれたカシミアはさっぱりして、床屋さんに行った感じです。屋近くになると外の気温は30度を越えています。空気が乾燥しているので汗はかかないけど太陽の光はとつても強烈です。これからは40度近い日が続くということなので冬毛のままでは

それこそ暑くてかわいそうです。

内モンゴルまで来て実際に毛梳きを体験させてもらうまでは、「ひよつとすると、カシミアが人間の為に強制的に産毛を取られるのでは」という心配が心の隅にあったので、牧民とカシミアの良い関係をj知ることが出来て、「自分の仕事はカシミアの犠牲の上になり立っているんじゃないか」と知って心底安心した思いがあります。

柔らかいうぶ毛を集めて砂やゴミや硬いヘアールなどを取り除くと一頭から採れる量はわずか一七〇グラム前後。最終的にはセーター一枚作るのに三頭分の産毛が必要だといわれています。

その毛は、色、長さ、太さなどで等級に分けられます。

一口にカシミアと言っても毛のグレードによつてピンからキリまであるんです。もちろん値段もかなりの差があります。



ホームオフィス・リモートワーク



コロナウイルス騒動でリモートワークやテレワークなどと言われる在宅勤務が急にクローズアップされていますが、私は1997年から3年半、ホームワークというよりホームオフィスで仕事をしていました。

青山骨董通りで起業したニットアパレルが上手いはず。大きな借金を抱え、断腸の思いで事務所をたたみ小金井の自宅を事務所にしました。負け犬の落ち気分で落ち込みましたが、悲観していても始まりません。初日は孤独感がありましたが、お客様に電話をかけた後、2、3日もすると完全に頭が切り替わりました。

朝食が終わると通勤時間ゼロ分の仕事部屋(お洒落に言うところのカミさん・オフィス)に入って仕事開始！お店をやっているカミさんを見送ることに仕事モード全開。97年頃の日本ではS.O.H.O(ソーホ)スモールオフィス・ホームオフィスはまだ馴染みがなく、『奥さんは毎日元気一杯で出掛けて行くけど、御主人は家に居て何やってんだらう？』、マンションの管理人さんや近所の人達は興味深々なようでした。

火災点検で部屋に入った時の管理人さんの第一声は『ホー、ヘー』と感心した様子。コピー機などの事務機器や書類が並んだホームオフィスを見て『仕事してるんだ！』と、納得がいったようです。

当時は、『職場はホームオフィスです！』という若い人の感相は『良いですねー、うらやましい』が3人に2人。一方、私と同年代の年寄りには、無言で複雑な表情で、想像出来かねるようでした。

この状況は本人はしごく満足していました。なににより満員電車での通勤がないこと。通勤時間はきっちり仕事が出来ます。でも運動不足になりがちです。又、電車の中は読書タイムだったので読書の時間をとるタイミングが難しい。また1人仕事なので集中は出来るけどど終わるタイミングが難しく、つい長々と仕事をしまし、時間の管理が難しいです。ましてや自分の会社だけに、サボることは逆に勇気が要ります。

コロナウイルス騒動を機に、日本人の仕事の仕方も随分変わると思います。リモートワークはごまかしがきかない仕事だと思えます。会社に行くことが仕事というカッコだけや社内政治や年功序列の奴はごまかしがきかない実力が問われる時代になったのかもしれない。アメリカ経営者のように、孤独に負けずに一人で仕事が出来ると、採算が取れる人は独立してもやっつけていける実力者だと思えます。当時は、嫌だった都心に出掛けて行くのが新鮮で楽しいみな田舎者の半面、青山で再興するのが目標でした。

世界のホテルを旅する(六十六)

元 旅行屋のお勧め 新冠・北海道

アルファリゾート トマム

あれえ！星野リゾートトマムじゃないの？！と言われそうですが、私が泊まったのは2001年8月です。今は星野グループのリゾートとして人気ですが、私が訪れた時は丁度アルファリゾートが破綻してすぐの頃で再建も途についていないような時でした。

館内は撤退したテナントのスペースがベニヤ板で仕切られて、有名な超高層の宿泊タワーは2棟ぐらしか使っていない様子でした。なにもベニヤで仕切らなくてももう少しお洒落に困ったらと思いましたが、困らないと荷物が散在しているんでしょう。ある面貴重な体験でした。

北海道の雄大な自然の中に300万坪の巨大リゾートとして開発されたアルファリゾートトマムは1983年に、それまでの日本にはない大きなスケールのリゾートとして華々しくオープンしました。北海道へ行ったら一度は泊まりたい処としてとても憧れていましたので、倒産のニュースはショックでした。

日々厳しい資金繰りに追われ気持ちも折れそうに日々。好きな旅に出る余裕も全くなさく日々とした時に、カミさんの強い勧めもあり思い切って北海道の列車に乗りに行こうと旅に出ました。乗り鉄小僧にとっては、北海道を列車に乗るだけが目的の旅でした。

旅の終盤、石勝線の列車は夕張を過ぎ鬱蒼とした原生林を走る車窓は美しい緑一色。占冠をすぎトマムに近づくと超高層のホテルが見えてきてワクワクします。無人のホームへ降り立つと駅舎にホテルからの迎える女性が待ち受けていました。ここで降りる人はトマムの宿泊客しかいないようです。

案の定、満面の笑顔で、「ご予約のお客様ですか？」。「いえ、予約はありませんが、泊まりますか？」「はい！」と、待ちかねたような返事に先導されて超ワイドボディのシャトルバスに乗り込みました。なんとなく足にはまった獲物のような気がします。

10日間ずっと列車に乗りっぱなしの旅で、長年憧れていたリゾートのトマムで1日広大な自然の中で過ごす時間は沁みました。

特に超高層ホテルの17階の部屋で、横着にもベッドに寝転んで外を眺めていると、巨木の隠れ家や峠からの異次元の眺望の様で特別に印象的でした。あの眺めは、ホテルの経営状況とは関係ない素敵な思い出です。

